髙橋

茂美

議員

10年後のまちづくりは

交流人口を増大させ町の活性化を図っていく

などの、

び戻す運動もしてみたい 本町出身者をふるさとへ呼 さとまつり」などを開催し

が重要なことと思いますが ないものか くりにとって、 た毎日を送るための一歩進 ための健康でいきいきとし んだ事業の取り組みができ 人をこの町に定着させるか ターン、そしてUター 移住希望者の積極的な これからのまちづ かに若い

梅津 政志 議員



のか聞きたい。 受け入れを行う考えがある

所と保健センターの連携にればならないと考え、診療

具体的にどのようなまちづ りがスタートを切るわけで な10年先を目標にまちづく 定され、来年4月には新た この長期総合計画に沿って りをしようと考えている 第5次長期総合計画が策 高齢化率を予測して 10年後の人口と年齢

すきな水守の郷しちかしゅ

第5次長期総合計画のタ

図ります。

本町独自の取り組み、

内で、だれにも見取られず 告があった。今年の春、 充実させて、

早急に導入を

しの世帯を見守るという報 くりの活動として一人暮ら

峠田地区の元気な地域づ

ている。

ている。ただ、施設をつく宮城福祉会の理事長からき

よる在宅医療・訪問介護を

長

トルは、「だれもがだい

く」。このことは、

町に住

んでいる方はもちろんのこ

を好きになっていただきたと、町を訪れる方も七ヶ宿

体制」を確立することが喫に「地域ぐるみで支え合う

ている。

の一人暮らしの世帯が増え

のある日常生活を送るため 高齢者の皆様方が生き甲斐 齢者安否確認制度を初め

死」が発生している。

私達

それと同時に、

各集落を

亡くなる、

いわゆる「孤独

な考える柱である。

きか」というのが一番大事 中で「どう高齢者を守るべ みとなるので、住民負担の るほど、介護保険料の上積

の地区においても、

緊の課題と受け止めている。

いとの思いである。

七ヶ宿ダ

若者の定住化は、

働く場

安否の確認あるいは見守り

一人暮らしのお年寄りの

というのは、地域そして近

めの支援や病気を予防する 在宅で高齢者が健康で自立 色ある医療や介護、そして 齢化率が県下一の我が町と 態を定期的にチェックする ための指導、そして健康状 対策について聞きたい。 測される中で、特に高齢者 した生活を維持し続けるた 八が高齢化になることが推 また、近い将来2人に1 よその町にはない 要介護とならない 見出して、 業振興、 び教育の充実などを施策と させ町の活性化を図ってい り自然的、 環境を守り育てることによ く考えである。そのために して実施していく。 ムを抱える水源の町として、 具体的には、 住民との協働を柱に産

交流人口を増大 歴史的価値観を

場をつくり出していくこと

産業を活性化させ、

雇用の

で、

そのためには、

町内の

隣に住む家族の役割でもあ

所の確保と住宅対策が重要

また、

周辺市町の雇用拡大

寄りのための、こういった ても安心して暮らせるお年 ると思いますが、行政とし

ということも出てきている も重要で「ふるさとまつり」 う仕組みも考えていくこと さとに帰ってこいよ」とい い」と話しを聞く。「ふる くりを何か組み立てて欲し 何とか戻られるきっかけづ 家に戻ってくるつもりない 叔父も叔母もさっぱり我が 回ると「私の息子も娘も、

いる各種健診、 業など、 祉の向上も同時に進めなけ の傾向にあるため、 家庭における介護力が低下 り強力に進めていく。 医療制度並びに介護保険事 生活を維持するため、行政 高齢者が健康で自立した -ビスとして後期高齢者 従来にも増してよ 制度上確立されて 介護事業の また、

凍結された補正予算の対応策は

早く執行されるよう情報収集に努める

来年度の予算編成はどうする

答 「くらす」「まもる」「まなぶ」を実現できる事業を盛り込んでいく

に頑張っていく るだけ早く執行されるよう い。情報収集に努め、でき

ほとんど届いていな

現在見えてこない。 についてはまだない ので、

報は、 ンピュー る。 デジタルテレビの事業であ の農業機械と総務課の地上 タルテレビ、 執行を見合わせている事業 行率で76%となっている。 及び改修工事の2件で、 舎・開発センター耐震補強 関消防詰め所新築工事と庁 に対応するのか聞きたい。 あるのか。また、どのよう 国や県からのくわしい情 教育委員会の地上デジ している事業は 電子黒板、 産業振興課

の

択できるような計画がある

また何らかの事業が採

国のこれからの動向

コ

の担当で、 伝わってこない。国会に直新聞やテレビでの情報しか 安な思いで現在それぞれ首 け止めていくのか、大変不 声をどのように国として受 にならなかった。住民の 望をしたが、 接出向いて陳情、請願、 大変悩んでいる。 きり示されておらず 大臣に届く状況 事務職員1名 要

補正予算も具体的な中

止された事業はどれくらい 予算の見直し作業で執行停 時交付金のうち、国の補正 域活性化・経済危機対策臨 9月の定例会に提案さ 可決した補正予算の地

況にあることなのですが 農業関連及び教育関連の

た予算も含め、2次補正予また、今度は一時凍結され でよろしいのか聞きたい 行できるというような認識 削減されたわけではないの 事業がまず執行できない状 いずれかの時期には実 るが、 町

少子・高齢化に対応するた な施策は多岐にわたって、 第5次長期総合計画の主 どの分野を重点的に予 加速する人口減少

く。 できる事業を盛り込んでい 「まもる」「まなぶ」を実現

補正予算が出るということ

算が組まれ、

今度は大幅な

は、 ک として編成していきたい ること。起債(借金) 1億5000万円以内とす 20億円を限度とするこ 億円内とすることを原則 一般会計予算額が 臨時財政対策債を除き 基金の取り崩し額を 総額

趣旨を組み入れ「くらす」第5次長期総合計画の

算付けするのか聞きたい。

的な部分があるのか。

が今自分たちの与えられて指示していることは、「何 年間の初年度として各課へするつもりはない。この10 する提案を取り上げられ れの提案制度を取り入れ ください」と話している。 ちっとした意思表示をして べきか」という課題を、「き いる取り組みの中で優先す それから、 各地域からも町に対 職員のそれぞ

弁であるので、具体的な部はやらないというという答 分で「これこそは絶対にや りたい」というような目玉 らす」を重点的に事業立て 答弁であるが、その中で「く 則って予算立てをするとの 点的にするのか、 するのか、「まなぶ」を重 本に第5次長期総合計画に ぶ」「まもる」の3点を基 町長は、「くらす」「まな 総花的に

町 長

どこの部分もおろそかに

孤独死をなくすための対策

いるの

きるよう各自治体と連携を を期待し、通勤型定住がで

少子高齢化対策及

深めていく。

また、「ふる

町

ならない。 最優先の課題である。 事業の地域での取り組みが、 で孤独死を防ぐために、 高齢者対策の状況と、 対策と、各集落内としての 元気な地域づくりの交付 ろいろ政策を考えなければ 町全体の中として高齢者 そのためにも、 二面

いることから、 それから、 ムの増設という話しが 待機高齢者が 特養老人